

## 家庭的保育の保育内容

家庭的保育	
形態	家庭的保育者が居宅等で就学前児童の少人数を保育
子どもの保育の特徴	<p>少人数による個別的対応(一人一人の発達過程や心身の状態に応じてきめ細やかに対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○十分なスキンシップや応答的関わりによる保育者との愛着形成。</li> <li>○一人一人の生活リズムを考慮し、子どもの一日の生活を見通して対応。</li> <li>○食事、授乳、排泄等生活面の個別対応による子どもの状態の的確な把握。</li> <li>○子どもの発達過程や興味や関心に即した保育を柔軟に展開。</li> <li>○子ども同士の間で、異年齢の関わりやきょうだい関係に近い関わりが持てる。</li> </ul>
保育の環境	<p>家庭的で温かな環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもにとって親しみやすく安心感が得られる家庭の雰囲気や室内環境。</li> <li>○生活者である家庭的保育者の生活感や暮らしを彩る様々な配慮がある。</li> </ul> <p>子どもの健康と安全を守るための配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○室内外の衛生及び安全管理や危険防止策の必要性(生活空間を保育環境として見直す)</li> </ul> <p>地域の環境との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○近隣の子育て家庭や住人との親密な関わりがある。</li> <li>○地域の関係機関や保育所との連携も可能。</li> </ul>
保護者との関わり	<p>少人数による個別的対応(保護者一人一人の状況や心身の状態に応じてきめ細やかに対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○日々、保護者と顔を合わせ、子どもや子育てに関する相談に応じたり、日常的なアドバイスが丁寧に行える。</li> <li>○同じ保育者が一日を通して子どもをみる。</li> <li>○保護者の就労や個々の事情に合わせた柔軟な対応が可能。</li> <li>○密接で親密な関わりにより保育者との信頼関係が築かれやすい。</li> </ul>